平成31年度(令和元年度)放課後等デイサービス評価表【職員・事業所①】 児童デイあった介護 山(児童ディあったまぁる山)

		チェック項目	職員			辛日		事業所	小羊口煙. 小羊安
			はい	どちらとも いえない	いいえ	意見	はい	どちらとも いえない いしい	→ 改善目標・改善案
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペース との関係で適切であるか	3	3			0		法令基準は遵守していますが、適切でないと思われる理由を聴取し、是正していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか		5	1	人手が足りないと感じる時間帯がある。		0	法令基準は遵守していますが、児童の 特性との兼ね合いを考慮し、充実した療育ができる人員配置を目指します。
	3	事業所の設備等についてバリアフ リー化の配慮が適切になされている か	2	4	1	事業所内に段差が多い。		0	バリアフリー化が必要と思われる個所を 聴取し、是正していきます。
 業	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	3				0	PDCAサイクルの実施はまだ弱い面があり、今後力を入れていきたいです。
	(5)	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	4				0	アンケート結果を活用することを積極的 におこないます。
務改善	6	この自己評価の結果を、事業所の 会報やホームページ等で公開して いるか		5	1		0		ホームページ上で公開していますが、職員への周知が不十分でした。今後は書面の貼り出しもします。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	5				0	評価結果の周知が不十分でした。業務 改善に役立てる方法を検討していきま す。
	8	職員の資質の向上を行うために、研 修の機会を確保しているか	5	2			0		職員が十分と思える研修の内容・量では なかったようですので、内容の充実と回 数を見直します。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと 保護者のニーズや課題を客観的に 分析した上で、放課後等デイサービ ス計画を作成しているか	4	2				0	計画の内容について、職員からもっと意見を聴取していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	4			0		アセスメントツールの使用に関して、さら に改善を重ねます。
	_	活動プログラムの立案をチームで 行っているか	1	5			0		チームでの立案をさらに充実したものとしていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう 工夫しているか	2	4				0	プログラムを見直し、多様性を高めま す。
	13)	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2				0	きめ細やかさが不足しています。課題の 見直しを行ないます。
	14)	子どもの状況に応じて、個別活動と 集団活動を適宜組み合わせて放課 後等デイサービス計画を作成してい るか	2	4			0		計画作成に関して、意図を職員に周知 し、しっかりと課題に取り組めるようにし ます。
	15)	支援開始前には職員間で必ず打合 せをし、その日行われる支援の内容 や役割分担について確認している か	7				0		
		支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	6		終業後に全員揃わないこと が多い。		0	利用者送迎の関係で退社時間がずれて しまうため、終了時での振り返りができ ず、翌日に行なうか、申し送り記録帳等 で対応しているが、さらに密に共有でき る方法を今後は考えていきます。
	17)	日々の支援に関して正しく記録をと ることを徹底し、支援の検証・改善 につなげているか	3	3			0		記録の充実と、それを検証することをさら に徹底します。
	18)	定期的にモニタリングを行い、放課 後等デイサービス計画の見直しの 必要性を判断しているか	3	3			0		モニタリングおよび計画の見直しはおこなっているが、その周知が不足していました。判断に際してももっと意見を聴取していきます。
	19	カイドラインの総則の基本沽動を複 数組み合わせて支援を行っている か	1	5				0	ガイドラインの確認と、支援との関係性を 再度見直して支援を行ないます。

平成31年度(令和元年度)放課後等デイサービス評価表【職員・事業所②】 児童デイあった介護 山(児童ディあったまぁる山)

		チェック項目	職員			辛日	事業所			九美 日 博 - 九 美 安
			はい	どちらとも いえない	いいえ	意見	はい	どちらとも いえない	いいえ	・ 改善目標・改善案
	20	障害児相談支援事業所のサービス 担当者会議にその子どもの状況に 精通した最もふさわしい者が参画し ているか	2	4				0		児童発達支援責任者の参画が多かった ので、今後は人選を吟味し適切な人材 が参加するようにします。
	21)	学校との情報共有(年間計画・行事 予定等の交換、子どもの下校時刻 の確認等)、連絡調整(送迎時の対 応、トラブル発生時の連絡)を適切 に行っているか	6				0			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け 入れる場合は、子どもの主治医等と 連絡体制を整えているか		6					0	基本的に主治医の話を保護者を通して 聴いていますが、直接繋がる連絡体制 は弱いです。
関係機	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互 理解に努めているか		6					0	就学前の様子を知る必要性がなかったため、その点は不十分です。必要のあるなしに関わらず情報収集に努め、連携をとるようにします。
関や保護者	24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	4			0			情報提供は行なわれていますが、職員 が提供する情報をさらに伝えていくように します。
との連携	25)	児童発達支援センターや発達障害 者支援センター等の専門機関と連 携し、助言や研修を受けているか		5	1				0	専門機関との連携に努めています。今 年度は専門機関の講師を招いての研修 を企画しましたが実現できませんでした。 来年度は実施する予定です。
	26)	放課後児童クラブや児童館との交 流や、障害のない子どもと活動する 機会があるか		4	2				0	公園等で障害のない子どもと接する機会 は設けていますが、学童クラブ等との交 流はありませんでした。今後は検討して いきます。
	27)	(地域自立支援)協議会等へ積極的 に参加しているか		4	2		0			参加しています。今後はその内容を職員 に周知するよう努めます。多くの職員の 参加も検討します。
	28)	日頃から子どもの状況を保護者と伝 え合い、子どもの発達の状況や課 題について共通理解を持っているか	6				0			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点 から、保護者に対してペアレント・ト レーニング等の支援を行っているか		4	2	保護者にどう伝えたらいい かわからないことがある。		0		ペアレントトレーニングに関しては、当社 の勉強不足でほとんど実施できていません。今後検討していきます。
	<u>30</u>	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行って いるか	2	4			0			丁寧な説明を心がけていますが、不十 分な面もあるようです。是正すると同時 に、ご希望があれば再度ご説明する旨、 職員に伝えます。
	31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	4				0		保護者様のご希望に添えるよう努力いた します。
保護者へ	32	父母の会の活動を支援したり、保護 者会等を開催する等により、保護者 同士の連携を支援しているか	1	5					0	本年度は保護者向けの会合が開催できませんでした。来年度は保護者同士が 交流できる懇談会やイベントを開催した いと思います。
への説明責任	33)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2			0			苦情対応が不十分と感じられている面が あるので、早急に改善していきます。
· 等	34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報 を子どもや保護者に対して発信しているか	3	3			0			情報発信はやや弱く、不十分といえます。今後は、きめ細かく情報量の多い発信を目指していきます。
	35)	個人情報に十分注意しているか	7				0			
	36	障害のある子どもや保護者との意 思の疎通や情報伝達のための配慮 をしているか	4	2			0			マカトンサインや絵カードの利用、独自 の伝達方法の開拓など、コミュニケーショ ンの方法を多くしていきます。

平成31年度(令和元年度)放課後等デイサービス評価表【職員・事業所③】 児童デイあった介護 山(児童ディあったまぁる山)

		チェック項目	職員			意見	事業所			改善目標·改善案
			はい	どちらとも いえない	いいえ	总兄	はい	どちらとも いえない	いいえ	以晋日倧"以晋朱
	37)	事業所の行事に地域住民を招待す る等地域に開かれた事業運営を 図っているか		3		本年度は地域住民との交流がほぼなかった。		0		本年度はイベント開催や地域の集まりへの参加もほぼできませんでした。今後は 積極的に関りを持っていこうと思います。
	38)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	4			0			マニュアルは策定していますが、周知・ 説明が不十分な面がありました。周知の 徹底を目指します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に 避難、救出その他必要な訓練を 行っているか	5	1			0			欠席した職員へは、後日別の形で訓練となることを実施します。
非常時の	40	虐待を防止するため、職員の研修 機会を確保する等、適切な対応をし ているか	4	2			0			研修内容を検討して、職員の理解が深 まるよう努力します。
対応	41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか	1	5			0			決定した内容について共有はしていますが、さらに研修・勉強会等を開催して、利用者・保護者様も職員も不安を感じないようにしていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについ て、医師の指示書に基づく対応がさ れているか	1	4	1				0	医師の指示書を用意してもらっていません。今後は必要かの確認をし、必要な場合はそれに基づく対応をいたします。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業 所内で共有しているか	6				0			